

2014年1月21日

これからも、ずっと、あなたの始発駅

皆様に支えられ、2014年5月1日 東武東上線 開業100周年！

東上線開業100周年記念イベントを実施します！

～お客さま応募型企画や懐かしのセイジクリーム塗装車両運行など、年間を通じ様々なイベントを実施いたします～

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、東武東上線が2014年5月1日（木）に開業100周年を迎えることを記念して、2014年1月から2015年4月にかけて、開業100周年記念イベントを実施します。

1914年（大正3年）5月1日、前身の東上鉄道株式会社による池袋～田面沢間（33.5km）開業以来、東上線を応援して下さった沿線地域の皆様方に対しこれまでのご愛顧を感謝するとともに、更なる沿線活性化を図り、お客さまに選んでいただける路線づくりを目指すため、100周年を迎える今年を節目として以下のおり様々な記念イベント・施策を行います。

1 主な100周年記念イベント

- (1) お客さま応募型企画「私の始発駅物語」の募集
- (2) 懐かしのセイジクリーム塗装車両の運行
- (3) 東武百貨店池袋店と東上線の共同開催による特別催事
- (4) その他記念式典など年間を通じ実施予定

※詳細は別途お知らせします。

2 開業100周年ロゴマークおよびキャッチコピー「これからも、ずっと、あなたの始発駅」の設定

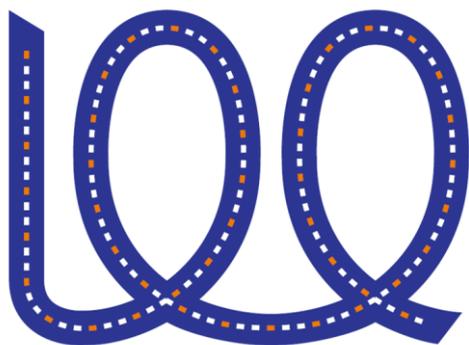
3 「東上線開業100周年記念WEBサイト」の開設

沿線地域の皆様に支えられ、東上線は100年という節目を迎えることが出来ました。今後とも、東上線のご愛顧をよろしくお願ひします。詳細は別紙をご覧ください。

以上



△1946年頃の池袋駅



これからも、ずっと、あなたの始発駅
みんなの東武東上線100周年

△開業100周年ロゴマーク



△現在の池袋駅の様子

※お問い合わせは、東武鉄道お客さまセンター ☎03-5962-0102

東武東上線 開業100周年 記念イベントについて

1 東武東上線（東上線・越生線）概要について

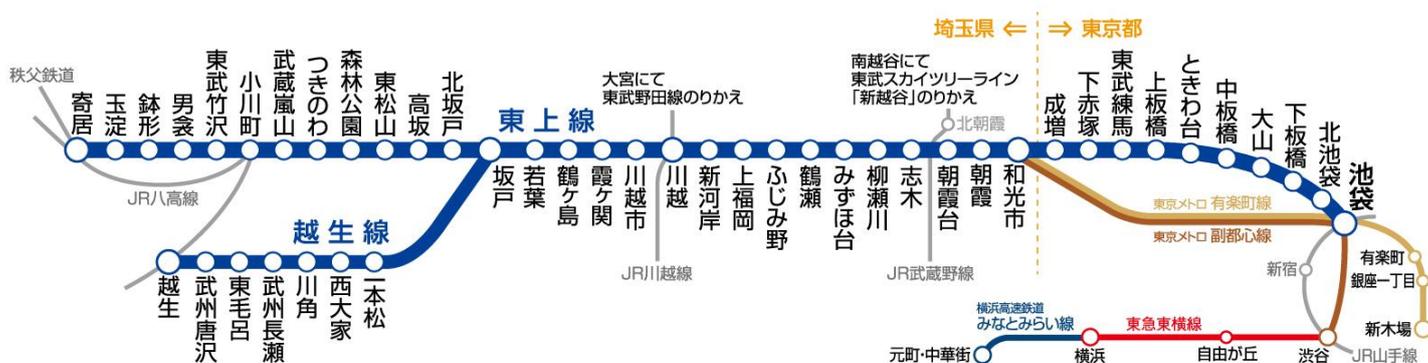
(1) 路線概要

- ・東上線（池袋～寄居） 駅数：38駅 営業キロ：75.0km
- ・越生線（坂戸～越生） 駅数：7駅 営業キロ：10.9km

(2) 主要駅の乗降客数

池袋	約47万人	和光市	約16万人	朝霞台	約15万人
志木	約10万人	川越	約12万人	坂戸	約3万人

(3) 東上線路線図



※東武野田線は2014年4月1日より愛称名「東武アーバンパークライン」を導入いたします。

2 主な100周年記念イベント概要について

(1) お客さま応募型企画「私の始発駅物語」

東上線の魅力を伝えることで、お客さまに更に愛着をお持ちいただくことを目的に、東上線を舞台に実際にお客さまが体験した心温まるストーリーを募集し、マンガ小冊子に編集し沿線各駅で配布する企画です。

いつもご利用頂いている東上線沿線に、お客さまそれぞれのストーリーがあるはず。お客さまのストーリーをご応募いただき、選ばれた作品については掲載させていただきます。

①マンガ小冊子概要（予定）

発行回数：全3回

※2014年5月、9月、2015年1月発行予定

掲載話数：全45作品（1回あたり15話掲載）

掲載形態：頂いたストーリーを6コマ漫画で表現

発行部数：各号15,000部

配布箇所：東上線各駅で配布

※「東上線開業100周年記念WEBサイト」上での掲載も予定しています。



△「私の始発駅物語」（イメージ）

②応募要項

募集期間：2014年1月31日（金）～2014年3月12日（水）

応募規定：800字以内の未発表作品。

東上線沿線にまつわご自身のストーリーがある方、団体様。

お一人様、一団体様、作品1点までとさせていただきます。

応募方法：郵送またはインターネット上の応募フォームにて応募を受け付けます。

詳細は、「東上線開業100周年記念WEBサイト」をご確認ください。

（2）懐かしのセイジクリーム塗装車両の運行

東上線の歴史を感じていただき、親しみをお持ちいただくため、1974年～1985年まで実際に東上線で活躍をしていた、懐かしのセイジクリーム塗装を再現し、リバイバルカラー車両として小川町～寄居間および坂戸～越生間にてワンマン車両で運行します。

かつてセイジクリーム塗装車に乗車されたことがある方には懐かしく、また、今回初めて見る方にとっても新鮮に感じていただけます。

①運行区間：小川町～寄居間、坂戸～越生間

②編成数：1編成4両（81111号編成）

③運行開始：2014年3月末ごろ

※春休みシーズン中より運行開始予定



△かつて東上線を疾走したセイジクリーム塗装車両
(当時の写真)

（3）東武百貨店池袋店と東上線の共同開催による特別催事

東上線の拠点・池袋駅とともに発展をしてきた、東武百貨店池袋店と共に100周年を盛り上げていくため、特別催事を共同開催します。

東上線の沿線自治体の物産展や、東上線の歴史を切り取った貴重な写真のパネル展等を計画しております。詳細が決まり次第、別途お知らせいたします。

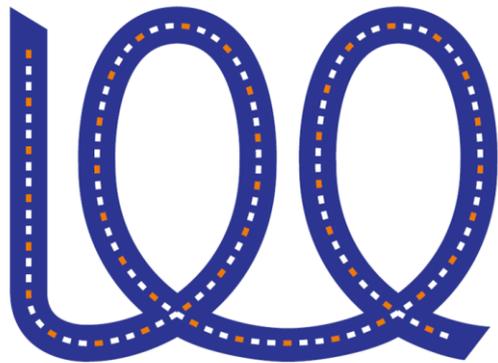
（4）その他

このほか、100周年を迎える5月には記念式典の実施を予定しており、そのほかにも記念乗車券の発売、記念ハイキングの実施等、様々なイベントを計画中です。詳細が決まりましたら、別途お知らせいたします。「東上線開業100周年記念WEBサイト」も併せてご確認ください。

3 開業100周年ロゴマークおよびキャッチコピーについて

東上線開業100周年を沿線内外のお客さまに広くお知らせし、お客さまへの感謝の想いを表現するとともに一連の記念イベントに統一感を持たせるため、このたびロゴマークおよびキャッチコピーを設定しました。今後、駅構内にて掲出するポスターや車両、記念イベントや商品等にロゴマークを積極的に掲出し、PRを行ってまいります。

(1) ロゴマーク



これからも、ずっと、あなたの始発駅
みんなの東武東上線100周年

～デザインコンセプト～

100の算用数字と線路を表すライン、そして東武東上線及び越生線の45駅をモチーフとするロゴデザインです。一筆書きの100の文字により切れ目なく続いてきたこれまでの1世紀を、また、歴史の積み重ねと未来志向がもたらす“しあわせのスパイラル”を表現。両端の斜めのカットデザインは未来へと走り続ける東武東上線を表しています。

(2) キャッチコピー

これからも、ずっと、あなたの始発駅

晴れの日、雨の日、うれしい日、悲しみを乗り越える日、何かに挑む日……。人は一日を、あるいは未来を始めるために駅に向かいます。そんな日々とともに走り続けて、1914年（大正3年）、前身の東上鉄道（株）による営業開始から、2014年（平成26年）5月1日、おかげさまで東武東上線は100周年を迎えます。これからも感謝の気持ちをエネルギーに走り続けます。あなたとともに。

4 開業100周年記念WEBサイトの開設

今回の100周年記念イベントの総合的な情報提供の場として、「東上線開業100周年記念WEBサイト」を開設いたします。

このサイトにおいては、現在実施が決定している記念イベントの内容詳細やスケジュール等随時情報を更新していきますので、是非ご覧ください。

①名称：「東上線開業100周年記念WEBサイト」

②URL：http://www.tj100th.jp

③開設期間：2014年1月31日（金）から
2015年4月30日（木）まで（予定）



△サイトTOPページ（イメージ）

以上

東武東上線の沿革その他について

1914年(大正3年)5月1日	東上鉄道(株)池袋～田面沢(たのもざわ・現在の川越市～霞ヶ関間の中程に位置)間33.5km開業
1916年(大正5年)2月27日	東上鉄道(株)川越町(現川越市)～田面沢間の旅客営業廃止
1916年(大正5年)10月27日	東上鉄道(株)川越町～坂戸町(現坂戸)間9.2km開通
1920年(大正9年)7月27日	<u>東武鉄道(株)と東上鉄道(株)との合併を登記 東武東上線となる</u>
1923年(大正12年)10月1日	坂戸町～武州松山(現東松山)間9.3km開通
1923年(大正12年)11月5日	武州松山～小川町間14.1km開通
1925年(大正14年)7月10日	小川町～寄居間10.8km開通 <u>現在の東上線(池袋～寄居)が全通</u>
1929年(昭和4年)10月1日	池袋～川越市間31.4km電化
1929年(昭和4年)12月29日	川越市～寄居間43.4km電化(東上本線全線電化完了)
1932年(昭和7年)2月17日	越生鉄道(株)坂戸町(現坂戸)～高麗川仮駅(後に森戸と改称、現在の西大家～川角間に位置)間5.0kmの貨物営業開始(越生線の前身)
1934年(昭和9年)12月16日	越生鉄道(株)森戸～越生間5.9km開通 <u>現在の越生線(坂戸～越生)が全通</u>
1943年(昭和18年)7月1日	<u>東武鉄道(株)が越生鉄道(株)を買収 東武越生線となる</u> <u>現在の路線系統が完成(東上線、越生線)</u>
1949年(昭和24年)秋頃	東上線行楽特急「フライング東上号」を運転開始 ※1967年(昭和42年)12月16日まで
1950年(昭和25年)7月24日	坂戸町～越生間10.9km電化(越生線全線電化完了)
1972年(昭和47年)7月11日	初の通勤用冷房車8000系が就役
1976年(昭和51年)11月1日	10両編成列車の運転開始
1986年(昭和61年)10月21日	東上線の貨物営業廃止
1987年(昭和62年)8月25日	和光市～志木間5.3km複々線化 営団(現東京メトロ)有楽町線相互直通運転開始(川越市～新富町間)
1988年(昭和63年)6月8日	営団有楽町線延伸により直通区間を新木場まで延長
2008年(平成20年)6月14日	東京メトロ副都心線相互直通運転開始(森林公園～和光市～渋谷) 座席定員制列車「TJライナー」運転開始
2013年(平成25年)3月16日	東急東横線、横浜高速みなとみらい線相互直通運転開始 (森林公園～和光市～渋谷～横浜～元町・中華街)
2014年(平成26年)5月1日	開業100周年を迎える

以上



△開業当初の東上鉄道
※現在の川越市駅



△営団(現東京メトロ)有楽町線
との相互直通運転乗入式の様子



△東急東横線、横浜高速みなとみらい線
との直通運転開始記念式典の様子